第４回ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権推進会議

日時　令和６年１０月２９日（火）午前１０時００分
場所　南相馬市役所　東庁舎２階第３会議室

次　　第

１．開　　会

２．会長挨拶

３．会議録署名人の指名

４．書記の指名

５．議　　事
（１）報告事項
①令和６年度人権に関する標語の入賞作品の結果について【資料１】
②令和６年度人権に関する講演会の報告について【資料２】

（２）協議事項
①令和７年度人権施策実施計画について【資料３】【資料４】
②その他
次回開催予定：令和７年２月６日（木）　時間未定
南相馬市役所　東庁舎２階第３会議室

６．その他

７．閉　　会

ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権推進会議委員名簿

令和6年5月13日現在

NO	所　属	委員名	役職等	備　考	区分
1	福島大学	前川（まえかわ）　直哉（なおや）	准教授	（再）※南相馬市こども政策アドバイザー	有識者
2	福島県弁護士会相馬支部	唐牛（かろうじ）　歩（あゆみ）	弁護士	（再）	
3	南相馬市社会福祉協議会	青木（あおき）　圭太（けいた）	課　長		関係団体
4	外国人活躍支援・国際交流協会	畑山（はたやま）　慶子（けいこ）	理　事		
5	相馬人権擁護委員協議会	飯塚（いいづか）　宏（ひろし）	小高区事務局員	（再）	
6	南相馬市小中学校長会	和田（わだ）　節子（せつこ）	校　長	（再）	
7	南相馬市区長連絡協議会	森島（もりしま）　祐一（ゆういち）	副会長		
8	原町青年会議所	佐藤（さとう）　晃大（こうだい）	専務理事		
9	公募	山田（やまだ）　一栄（かずえい）	－		公募
10	公募	－	－		

【事務局】

		中本（なかもと）　直記（なおき）	市民生活部長		
		相良（さがら）　毅（たけし）	市民課長		
		馬場（ばば）　千津子（ちづこ）	市民課総合相談担当係長		
		山田（やまだ）　純一（じゅんいち）	市民課総合相談担当主査		

令和６年度南相馬市人権に関する標語入賞作品

資料１

【小学生の部】

ＮＯ		学校名	学年	氏　名	作　品
1	最優秀賞	原町第三小学校	６年	清見（きよみ）　真那斗（まなと）	わかちあう　みんなでいきる　このせかい
2	優秀賞	原町第一小学校	５年	松嶋（まつしま）　真央（まひろ）	やさしさは　世界につながる　笑顔の輪
3	佳　作	原町第一小学校	６年	後藤（ごとう）　逸華（いつか）	ちょっとだけ　勇気を出して　声かけて
4	佳　作	原町第三小学校	６年	福尾（ふくお）　葵（あおい）	どうしたの　よりそう気持ちで　ささえあい

【中学生の部】

ＮＯ		学校名	学年	氏　名	作　品
1	最優秀賞	原町第一中学校	３年	佐々木（ささき）　恋那（れな）	認め合う　みんなの個性　支え合い
2	優秀賞	原町第二中学校	１年	安川（やすかわ）　蓮（れん）	世界中　みんなの笑顔で　つつみたい
3	佳　作	石神中学校	２年	長倉（ながくら）　歩海（あゆみ）	命とは　世界に１つの　たからもの
4	佳　作	石神中学校	３年	佐久間（さくま）　倫（りん）	おたがいの　違いを認め　尊重しよう

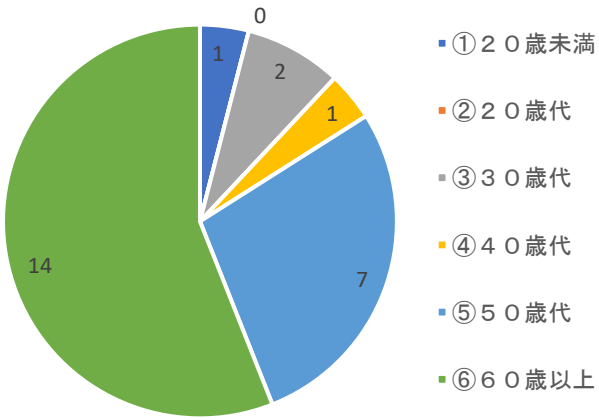
【学校賞】

ＮＯ		学校名	備考
1	小学校	高平小学校	応募作品が多く、人権に対する取り組みの功績がみられたため
2	中学校	小高中学校	応募作品が多く、人権に対する取り組みの功績がみられたため

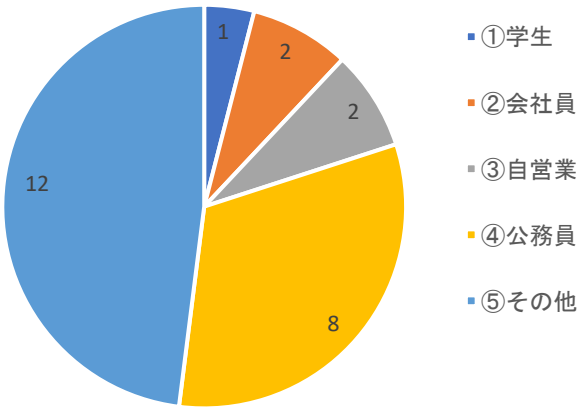
講演会におけるアンケート結果（来場者数６１人）　【資料２】

質問	回答	回答数
１．年齢	①２０歳未満	1
	②２０歳代	0
	③３０歳代	2
	④４０歳代	1
	⑤５０歳代	7
	⑥６０歳以上	14
25	回答なし	0

グラフ



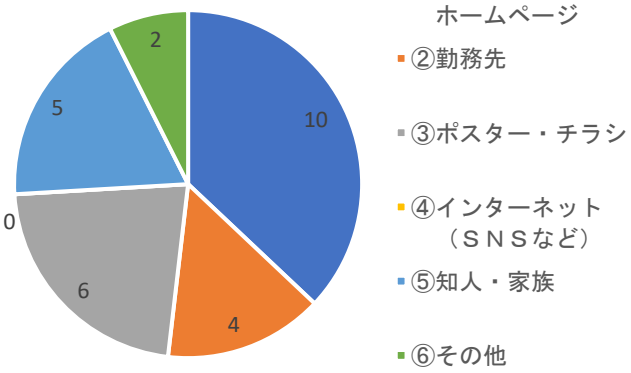
２．職業	①学生	1
	②会社員	2
	③自営業	2
	④公務員	8
	⑤その他	12
25	回答なし	0



その他（回答内容）
パート、無職（２件）、主婦（２件）

３．今回の講演会を何で知りましたか。（複数回答可）

①市の広報誌・ホームページ	10
②勤務先	4
③ポスター・チラシ	6
④インターネット（ＳＮＳなど）	0
⑤知人・家族	5
⑥その他	2
回答なし	0

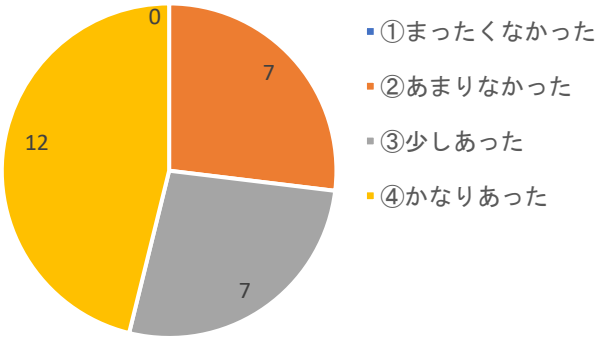


その他（回答内容）
相馬人権擁護委員会擁護委員

講演会におけるアンケート結果（来場者数６１人）　【資料２】

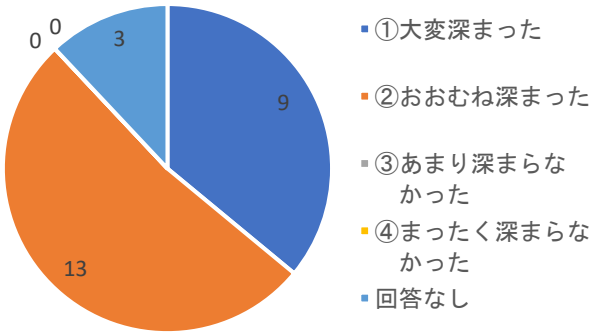
４．今回の講演会に参加する以前に、人権問題について、どのくらい関心や理解がありましたか。

	①まったくなかった	0
	②あまりなかった	7
	③少しあった	7
複数回答１	④かなりあった	12
26	回答なし	0



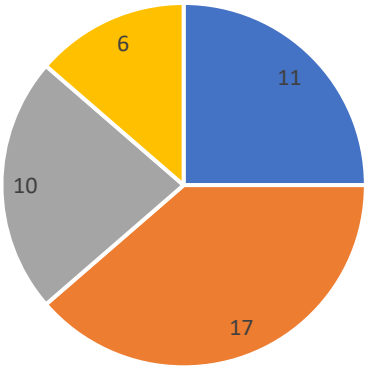
５．講演会に参加して、人権問題についての関心や理解は深まりましたか。

	①大変深まった	9
	②おおむね深まった	13
	③あまり深まらなかった	0
	④まったく深まらなかった	0
25	回答なし	3



６．講演会に参加して、何か行動しようと思いましたか。（複数回答可）

①人権問題に関心を持ち、偏見を持ったり、差別をしないようにしたい。	11
②人権問題について、もっと知識を深めたり、勉強したりする機会を持ちたい。	17
③今回の講演会の内容を、友だちや家族に説明し、話し合いたい。	10
④人権に関するイベントにもっと参加したり、企画・運営に関わってみたい。	6
その他	0
回答なし	0

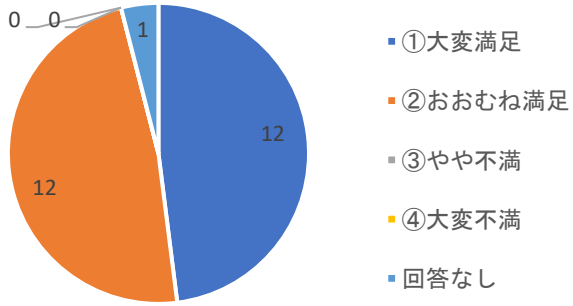


その他（回答内容）

講演会におけるアンケート結果（来場者数６１人）　【資料２】

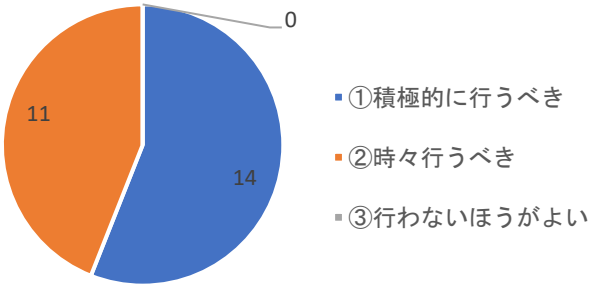
７．今回の講演会の内容は、満足のいくものでしたか。

	①大変満足	12
	②おおむね満足	12
	③やや不満	0
	④大変不満	0
25	回答なし	1



８．今後もこのような講演会を行うべきだと思いますか。

	①積極的に行うべき	14
	②時々行うべき	11
	③行わないほうがよい	0
25	回答なし	0



９．今回の講演会についてのご意見や、今後開催してほしいテーマなど、ご自由にお書きください。

同じテーマの繰り返しでもいいと思います。

貴重な講演ありがとうございました。

今後各小中高学校へ〝人権〟についての講演の必要性を感じました。

最後早口になってしまったようなので内容をしぼった方が良かったのかと思います。とても良い話でした。また聞きたいです。

子どもの教育・虐待・親の心を安定させるには？

講演会に来ないような市民への周知が大切。参加した人から伝えることも必要ですが、どのようにアウトリーチしていくかが大切だと思う。

参加者が少ないのは残念。ＰＲ不足、主催者側で人権問題を本気で考えているかギモン。
講演内容は、分かり易くていねいで良かったので尚更です。
資料のパワーポイントのコピーの文字が一部小さくて読めない。
時間が足りなかった。第２弾も期待している。ワークショップで。

勉強の必要性大を感じた。

映画「みんなの学校」をみてみます。

日本は世界的に見ても自殺が多いという事実は、深刻だと感じた。人権に関する情報に、
もっと意識したいと思った。子どもの人権に焦点を当てた講演会を開催してほしい。

もっと時間が長くても

資料３

令和７年度人権施策実施計画（案）

月	Ｒ７計画（案）	Ｒ６実施（及び予定）
４月	○令和７年度新採用職員研修 ○性的マイノリティに関する職員研修	○令和６年度新採用職員研修　4/8（月） 講師：福島地方法務局相馬支局　照井係長 受講者：４０名 ○性的マイノリティに関する職員研修会 4/23（火） 講師：福島大学准教授　前川直哉氏 受講者：５３名
５月	◎第１回ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権推進会議 5/上旬 ○人権に関する標語又はミニのぼり旗デザイン募集（4月上旬～5月中旬）	◎第１回ともによりそい・育む南相馬市人権推進会議　5/16（木）9：30～ ○人権に関する標語の募集（～5/31） ○南相馬市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度開始
６月	◎第２回ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権推進会議 6月上旬 ○標語又はミニのぼり旗デザインの審査会 ◎第３回ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権推進会議 ６月○日（土）１３：３０～ ・人権標語又はミニのぼり旗デザイン入賞者表彰式 ・講演会：演題、内容とも未定	◎第２回ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権推進会議 6/12（水）10：00～北庁舎2-2 ○標語の審査会
７月	○7/3～7/9南相馬市人権週間 ・のぼり旗の設置（３区） ・入選標語またはデザイン画の掲示 ・原町火力発電所のライトアップ	○7/3～7/９南相馬市人権週間の制定 ・のぼり旗の設置（３区） ・入選標語の掲示 ・原町火力発電所のライトアップ ◎第３回ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権推進会議 7/6（土） ○令和６年度人権に関する標語入賞者表彰式　12：45～ ○令和６年度人権に関する講演会13：30～ 講師：弁護士　菅波香織氏
８月		
９月		
１０月	◎第４回ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権推進会議 10月上旬	◎第４回ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権推進会議 １０／２９（火）時間未定　東２－３
１１月		
１２月		
１月		
２月	◎第５回ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権推進会議 ２月上旬	◎第５回ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権推進会議 ２／６（木）時間未定　東２－３
３月		

資料４

令和７年度ミニのぼり旗デザインコンクール概要（案）

１．目　的

市民の人権の尊重の理解を深め、全ての人がお互いを思いやる人権意識の土壌と基盤づくりを醸成することを目的とし、また人権への関心を持ってもらうため、小中学生及び一般より前年度の人権に関する標語入賞作品を基にミニのぼり旗のデザインを募集し、人権啓発を図る。

２．対　象

市内の小学校（４・５・６年生）・中学校・高等学校へ通学している児童・生徒及び市内在住または通勤・通学している方

３．内　容

令和６年度人権に関する標語入賞作品（８点）の中から標語を使い、ミニのぼり旗のデザインを募集する。

入賞した作品は、ミニのぼり旗及びステッカーを制作し、人権啓発に使用する。

小学校部門　最優秀賞１名　優秀賞１名　佳作１名
中学校部門　最優秀賞１名　優秀賞１名　佳作１名
一般部門　　最優秀賞１名　優秀賞１名　佳作１名

４．募集方法

小学生・中学生は学校長を通して依頼する。

一般の部については、広報みなみそうま、ホームページに掲載し募集する。

参　考

令和６年度「性的マイノリティに関する職員研修」に係るアンケート結果

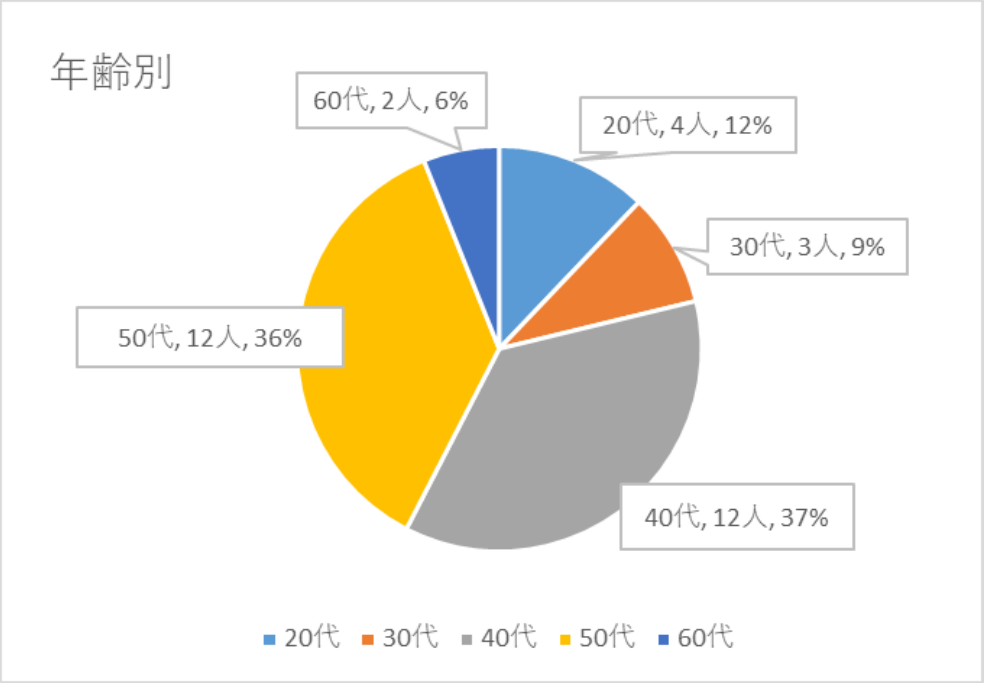
１．実施期間：令和６年５月２日（火）～令和６年５月１７日（金）

２．回収状況

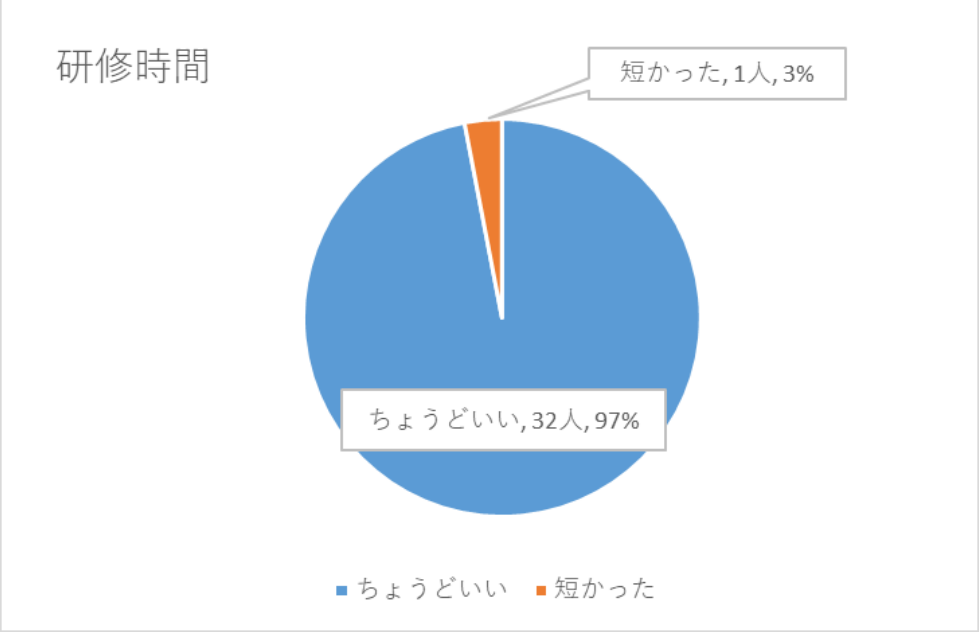
受講者数	回答数	回答率
５３人	３３人	６２．３％

３．回答結果

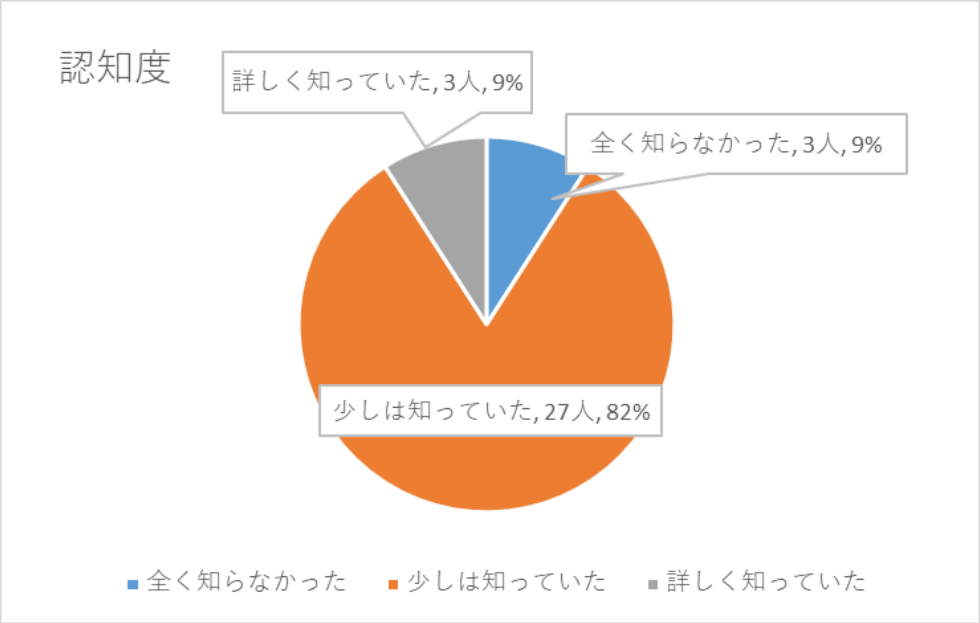
Ｑ１．あなたの年齢を教えてください。



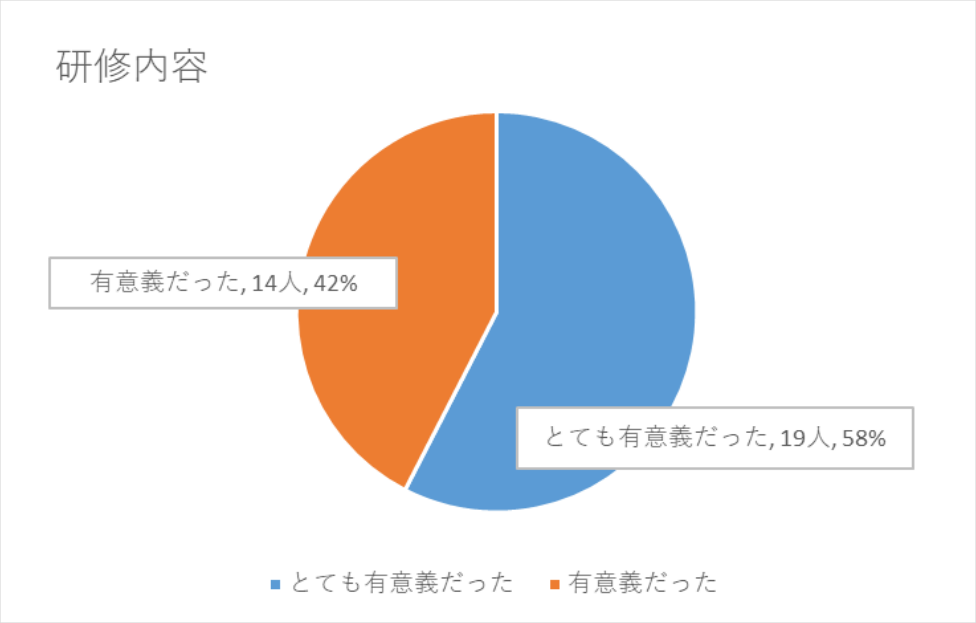
Ｑ２．研修時間をどう感じましたか？



Ｑ３．研修の受講前、性的マイノリティやＬＧＢＴＱについて、どの程度知っていましたか？



Ｑ４．研修内容をどう感じましたか？

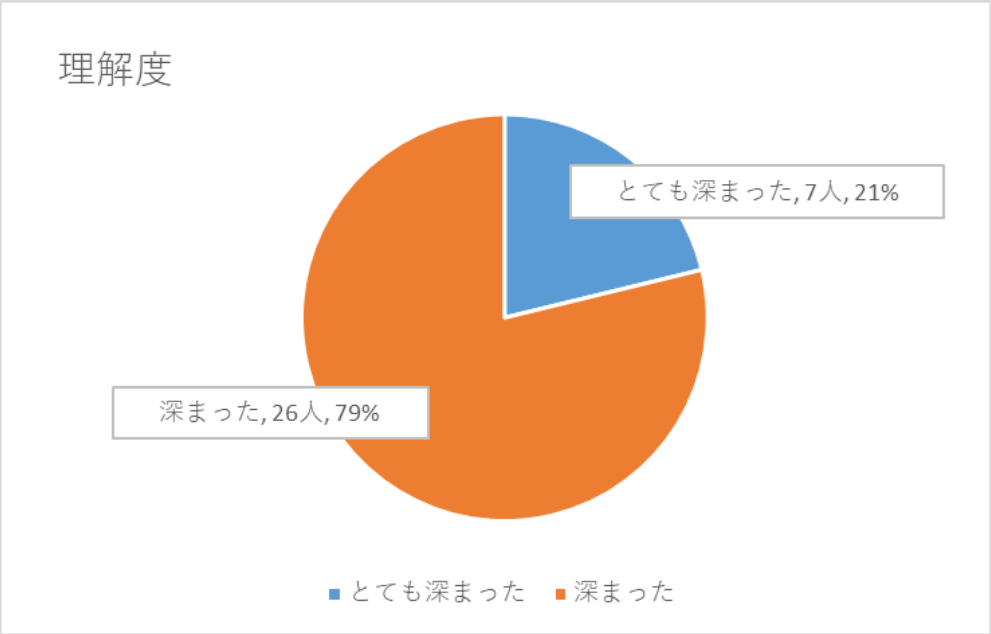


◆選んだ理由

・パートナーシップ制度が導入されるにあたり、考え方の整理が出来た。
・資料も分かりやすい内容にまとめてあったし、講師ご本人が堂々とされていたので、こういうのが当たり前の世の中になるにはどうすれば良いのだろう？と気付けたので。

・多様性を尊重することが求められる時代で、わからないという状態が一番危険で、まずその多様性を受け入れるための土台（知識）を作っていく必要性があると講習を受けて感じた。
・性的マイノリティ以外でも、自分が周りの人と同じグループに属さない（結婚していない、子どもがいない等）の時に居心地の悪さを感じる場面があると思います。そんな時でも、その人がそのままでいいということ、そのままで認め合えることが大切だと研修を通じて学ぶことができました。
・性的マイノリティについて知らない人にもわかりやすく、身近に感じる内容であったため。
・話がわかりやすかった。話し方が非常にいい印象を受けた。
・知識が希薄であったため、非常に参考になった。
・南相馬市でもパートナーシップ制度が始まるため理解を深めなければ対応が難しいと感じていたから。
・疑問に思っていたことがよく理解できた。
・意識していなかった、配慮に気づけたから。
・身近なことだと認識できた
・少しは知っていたとは言うものの、知らないこともたくさんあり、今回知ることができた。
・今まで関心がなかったから
・初めて見聞きする用語やその定義について知ることができたため。
・マイノリティの人にそれぞれ呼称がある一方、そうでない人は「普通」と捉えがちだが、それが差別であるという点や、窓口や施設利用の配慮が必要な点など参考になった。
・講師の先生の話がとてもわかりやすく、理解を深めることができた。
・現状を含めて理解ができた。
・前川先生のお話が非常にシンプルでわかりやすく、そして、より考えさせられる内容だったためです
・今までの自分の発言は「NG ワード」が非常に多かったことに今更ながら気づいた。
・受講前にも十分な知識があると思っていたが、新たな発見がたくさんあった。特に性的マイノリティの当事者である方からの話ということに価値があったと思う。
・性的マイノリティや LGBT について、内容について浅い知識しかなかったので、どのような配慮が必要か、理解ができ、有意義であったと思う。
・業務上、参考となるアドバイスが得られたため
・丁度 LGBTQ の方から悩み相談を受けていて対応に困っていたので丁度良かった。
・LGBTQ までは知っていたが、それ以外の性について知らなかったため学ぶことができた。また、想像以上にマイノリティといわれる方々は近くにいることを認識しないといけないと思えたため。
・詳しく学ぶ機会がなかったので、良いきっかけになった。

Ｑ５．研修を受講して性的マイノリティやＬＧＢＴＱへの理解は深まりましたか？



◆選んだ理由

・性的マイノリティの方への具体的な対応やどんなことが差別にあたるか詳しく知ることができた。
・国の動きや県内の状況等を知り、なぜ日本の取組は世界の中で後れを取っているのか、「何がずれているのか」考えるきっかけになった
・ググるより、生身の人間の話を直に聞いた方が分かりやすい（自分の欲しい情報にたどり着ける）と感じた。
・今まで何となくで理解していたのが、ほんの一部に過ぎないと感じた。
・当事者の人たちは特別な権利を求めているのではなくて、あたり前の権利（パートナーとして認めてもらうこと、トイレを安全に使う権利等）を平等に与えて欲しいと思っているんだということにあらためて気づきました。
・普段の発言等気を付けるべきことについて、改めて振り返るきっかけになった。
・話し方が非常にいい印象だったためか、よく理解ができた。
・研修内容を理解したため
・現状の課題や内容を、朧気で聞いていたことが、明確に説明されていてわかりやすかった。
・もともと理解しているつもりでいたが、深くは理解していなかったと実感した。
・初めて聞くことが多かったから
・カミングアウト＝誰が知っても OK と思っていたが、そうではないことや、その内容の扱い方について知りえたため。
・基本的知識や当事者への配慮などの話を通して以前よりは理解が深まったと思う。

・多様性を受け入れる社会が住みやすさ、そして選ばれる町にもつながっていくと理解した。
・具体的事例を含め説明がされていたのでわかりやすかった。
・自分の仕事（健康政策）をすすめるにあたってのヒントを頂きました。
・性的マイノリティやLGBT等は、今まで余り考えたことがなかったので、今回の研修を通じて「新たな知識」を得た。
・名称やどういった言葉が差別と捉えられるのかなどポイントが理解できた。
・これまで知らなかった知識を得られたため
・自分の知らない性や世界的な動きを知ることができたため。
・正しい知識を学ぶことができ、理解を深めることができた。

Ｑ６．性的マイノリティに関することで「こんなことをしてもらいたい」「こんな研修を開催してほしい」等のご要望やご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

・教育の現場ではもう既に実施されているんでしょうか？学生自体が「自分がおかしい訳じゃないんだ」と思えたり、近くにそういう友達がいても偏見の目を持たずに、一緒に学生生活を楽しんで欲しいなぁと思いました。
・講義形式だけではなく、グループワーク形式などもいいかと思います。また、以前、同じように性的マイノリティの研修を受けた際、どこかのテレビ局が作成した番組で、当事者や周りのご家族などのお話を紹介する動画なども見せていただきました。文字よりも、その人たちの言葉や表情で伝わるものも大きいと思うので、映像なども活用していただけたらより理解が深まるのではないでしょうか。
・実際に南相馬市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度により、実際に変更となる点や対応について、該当部署以外でも知っておきたいと思う。
・より参加しやすいオンラインの開催があってもよいと思う。相談窓口などを設置し、連絡先が周知されるとよいと思う。
・新庁舎建設の視点に活かして欲しい。
・市民向けや学校向けに今回の講座を実施して欲しい。
・この制度を利用することでどういった利点があるのかわかりやすく周知をしていく必要があると考える。
・民間受け入れが多く柔軟で多様性を尊重する南相馬市ですのでLGBTだけでなく、性別、国籍、人種、宗教などの多様性を職員採用にももっと取り入れていけばいいと考えます。より南相馬のまちが活性化すると思います。
・一回の研修にとどまらず、継続的な研修が必要と思う。

・時間とともに記憶も薄れるので、基礎的な部分を定期的に、たくさんの方に認識してもらう気鍵があるとよいと思う。
・定期的に行い、庁内での理解を深めていってほしい。今回の研修会場内で「へ～」「そっか、、」等の声が聞こえてきた。関心を持たないでいた内容も知る機会があることで対応は大きく変わってくると思うので、より関心が無い層に知ってもらう機会があると良いと思う。

Ｑ７．そのほか、研修を受講して感じたことやご意見等があればご自由にお書きください。

・人権条例やパートナーシップ制度導入は大変すばらしく、誇れる取組なので、多くの方たちに南相馬市の取組を知って頂きたいです
・性に関するナイーブな話しですし、自分の知らない世界だったので、理解・イメージするのに時間を要したが、受講して良かった。貴重な機会をありがとうございました。
・人はいろいろな個性や考え方があって、誰一人として同じ人はいないのだから、それぞれが認め合える世の中になれればいいのに、最近は、ＳＮＳなどを通じて自分の考えと違う人や事を認めない風潮も強いので、生きづらい世の中だな・・・と感じています。こういう研修を通して、互いを認め合えるようになれるといいなと思います。
・普段、何気なく発している言葉にも注意しなくてはならないと思いつつも、そこにばかり気を遣うのもおかしいのではとも思う。
・性的マイノリティやLGBTQの方たちは、生きにくい世の中だっただろうと想像するが、それと同時にこれまで性的マイノリティやLGBTQを意識せず過ごしてきた多くの人間（年配者が多いと想像する）もまた、生きにくいのではないかと思った。
・これだけいい研修でしたし、その他大切な研修はオンラインで講義をつなぐ　あるいは　セミナー後の動画を全職員に閲覧するようにして流すなりをすればいいと思います
・これからは自分自身の言動をもっと慎重にしなければ・・・と思った。
・性的マイノリティに関して、知らなかったでは済まされないことである。講師の先生から、既に身近にいると思って対応をして欲しいとの言葉が深く印象に残った。相手に配慮をした対応を心掛けたいと思います。
・性的マイノリティを取り巻く状況について、自治体職員としての知識が全体的に乏しいと感じた。知識のなさが差別につながるという言葉はもっともであり、定期的にこのような機会を設けるべきと感じた。

・研修の中で、パートナーシップ等の制度を導入していない地域に対しての 10～20 代の感想などの話も上がった。そういったことは、市政におけるニーズの声でもあると感じた。制度導入や理解のためにも庁内全体で知った方が良いと感じた。
・もっと身近な存在であることをアピールし、行政サービスにおいても考慮すべき問題なので、積極的に推進することで、もっと住みやすいまちになると思う。